

## 国際理解教育/開発教育 学習指導（活動）案




### 【実践者】

授業者氏名	山本 つぐみ	学校名	札幌市立中央中学校
教科（科目）・領域	英語科	対象学年（人数）	1 学年（4 学級 135 名）
実践年月日もしくは期間（時数）	2020年2月（5時間）		

### 【実施概要】

1. 単元名（活動名）：Sunshine English course 1 My Project② 人を紹介しよう		
2. 実施する教科・領域：  英語科 （後に実施する道徳科の授業につなげる）	3. 学習領域	
4. 単元の目標： 3 単元、人称代名詞、疑問詞、助動詞canなどの既習事項を用いて、人物を紹介する力を身に付ける。 また、後に実施する国際理解・国際協力をテーマにした道徳の授業に向け、意識を高める。		
5. 単元の 評価規準	①知識及び技能	既習事項を用いて、人を紹介する文をつくることができる。
	②思考力、判断力、表現力等	発表時の留意点に気をつけながら、読み手、聞き手を引きつける、紹介文作成、発表ができる。
	③学びに向かう力、人間性等	キルギスと日本の相違点及び共通点に関心をもつことができる。
6. 単元設定の理由・単元の意義 （児童／生徒観、教材観、指導観）	<p><b>【単元設定の理由】</b></p> <p>2 学期には三単現、全ての人称代名詞、ほぼ全ての疑問詞、助動詞canを学習した。それらを総合的に使って人を紹介する。自分の身の回りの人（家族や友達）、自分の好きな人物（映画スター、アイドル、ミュージシャン、スポーツ選手など）、自分が尊敬する人物などを、思いを込めて紹介できるようにしたい。</p> <p><b>【単元の意義】</b></p> <p>人物を紹介する活動を行った後、それを活かして、キルギスの人達を紹介する英作文に取り組みさせることにより、キルギスを身近に感じさせるとともに、画像を活用しながらキルギスと日本の違いと共通点に関心をもたせ、その後実施する、道徳（国際理解）の授業につなげたい。</p> <p><b>【児童／生徒観】</b></p> <p>生徒達は個人差はあるものの、おおむね意欲的に英語科の学習に取り組んでいる。入学時から継続的に、英語によるコミュニケーションの場面を多く設けており、英語によるコミュニケーション、英語による表現に抵抗感が少ない生徒が多い。一方、海外は危険だという意識をもった生徒が多く、海外志向が低い生徒が多い現状である。</p> <p><b>【指導観】</b></p> <p>本単元を通して、キルギスという国を身近に感じ、国際社会の一員として、他国への興味をもつ生徒が増えることを願っている。また、その後に行う道徳の授業（国際理解）では国際社会が抱える課題を自分事としてとらえ、持続可能な社会の創り手を育てる一助となることを目標としている。本単元はその下地となると考える。</p>	

7. 単元計画 (全5時間)			
時	ねらい	学習活動	資料など ※: JICA リソース 活用はここに記載
1	・人を紹介する文をつくろう	・マッピングを用いて人物紹介文の下書きを作成し、点検を受ける	
2	・人を紹介する文をつくろう	・点検後読み手を引きつける魅力的な人物紹介文を作成する	
3	・人を学級で発表しよう	・ペアでの発表練習後、学級で発表する	
4	・人を紹介した作品をお互いに読み合おう	・それぞれが書いた人物紹介の紙をお互いに読み、良いと思った作品にコメントをつけ合う	
5	・キルギスの人達を紹介しよう (本時)	・キルギスと日本それぞれで撮られた写真とそのカテゴリー名 (英語) をマッチングさせる活動とその後の True or False の活動を通して、キルギスの現状を知る ・キルギスの人達を紹介する英作文を作成することで、キルギスを身近に感じる	

8. 本時の展開 (5時間目)			
本時のねらい: キルギスの人達を紹介しよう			
過程・時間	教師の働きかけ・発問および学習活動	指導上の留意点 (支援)	資料 (教材)
導入 (5分)	<p><b>1. 1 minute talk (帯活動)</b> He is ~. He plays baseball. など簡単な人物紹介を1分間にできるだけ多くペアで行う。</p> <p><b>2. 本時の課題の提示</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>キルギスの人達を紹介する文を書くことができる</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語を使う雰囲気を醸成する</li> </ul>	
展開 (40分)	<p>Reflection Sheet(振り返りシート)に Today's Goal(本時の目標)を記入させる。</p> <p><b>3. matching game (7分)</b> キルギスで撮った写真と日本で撮った写真、カテゴリー名 (英語) を正しく組み合わせ、表を完成させる。終わったグループには両国の共通点と相違点を話し合わせる。</p> <p><b>4. matching game の答え合わせとキルギスの紹介 (7分)</b> 答え合わせを行いながら、キルギスと日本の共通点、相違点に気づかせる</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>アイヌの紋様に似ているね</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>料理が豪華でおいしそう!</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>顔が日本人に似ているね</p> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4人1組のグループを作り、グループごとに話合わせる</li> <li>・日本とキルギスの相違点・共通点が伝わる写真を用いる</li> <li>・キルギスを身近に感じられ、キルギスの良さや特色に気づくことができるよう紹介する</li> </ul>	<p>*別資料①表、カード参照 (clothes, cloth, students, school, store, cow, food, trash box, mountain, politician)</p>




<p>まとめ (5分)</p>	<p><b>5. True or False (5分)</b></p> <p>英語で○×クイズを出題する。答え合わせをしながら、日本語で解説し、キルギスを身近に感じさせるとともに、同国の課題に気づかせる。(道徳の授業につなげる)</p> <p>① <b>In Kyrgyzstan, students can learn in Kyrgyz or Russian. --- True</b>  【補足】キルギスの公立学校ではキルギス語で学ぶか、ロシア語で学ぶかを選択することができる。</p> <p>② <b>In Kyrgyzstan, many people don't know about Japan. ---False</b>  【補足】キルギスの人にインタビューをしたところ、全員が日本のことを知っていて、知っていることとして、アニメや富士山、テクノロジーなどを挙げていた。</p> <p>③ <b>In Kyrgyzstan, many children can ride a horse.--- True</b>  【補足】都市部では日本と同じように馬に乗れない人がほとんどだが、地方では子どもも含めて多くの人が馬に乗ることができると回答していた。</p> <p>④ <b>In Kyrgyzstan, most students go to school only in the morning or in the afternoon. --- True</b>  【補足】キルギスでは子どもの数が増えていて、学校の数も先生の数も足りてないため、公立学校では二部制をとっており、午前か午後のどちらかのみ登校する。</p> <p>⑤ <b>In Kyrgyzstan, all students can go to school.---False</b>  【補足】キルギスでは特定の障がいと診断されると、教育不能として、教育を受ける権利が与えられない。</p> <p>⑥ <b>In Kyrgyzstan, people often have a big welcome party. --- True</b>  【補足】キルギスではおもてなし文化が盛んで、お客さんが来たら、ボルソックという揚げパンやテーブルいっぱいの料理でおもてなしをする。</p> <p><b>6. キルギス人を紹介する英作文</b></p> <p>キルギスでのインタビューを元にキルギスの人達を紹介する英作文(5文)を作成し、点検を受ける。</p> <p>Let's introduce this person from Kyrgyzstan!!←</p> <p>←</p> <p>例  ←</p> <p>① Her name is Kanikei.←</p> <p>② She is 7 years old.←</p> <p>③ She likes volleyball.←</p> <p>④ Her treasure is her parent.←</p> <p>⑤ She is cute.←</p>	<p>・既習事項を用いながら、英語で内容を理解できるよう支援する</p> <p>・道徳の授業につなげるため、キルギスが抱える課題にも触れるが、それだけではなく、キルギスの人たちと温かさや、キルギスの良さも伝え、生徒がキルギスに親しみをもてるよう留意する</p> <p>・既習事項を用いて表現できる内容にする。</p>	<p>*別資料②パワーポイント資料参照</p> <p>*別資料③ワークシート参照</p>
---------------------	--	--	--

	<p>7. 振り返りシート記入</p> <p>本時の目標の達成状況を自己評価するとともに、本時の学びを振り返る。</p>		
<p>9. 評価規準に基づく本時の評価（評価方法）</p> <p>①知識及び技能：既習事項を用いて、人を紹介する文をつくることができたかを紹介原稿から見取る。</p> <p>②思考力、判断力、表現力等：発表時の留意点に気をつけながら、読み手、聞き手を引きつける、紹介文作成、発表ができたかを紹介原稿、発表から見取る。</p> <p>③学びに向かう力、人間性等：キルギスと日本の違い及び共通点に関心をもつことができたかを事前事後アンケートと振り返りシートから見取る。</p>			
<p>10. 学習方法および外部との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マッチングカードゲームに取り組む過程で、生徒が仲間と協力しながらキルギスと日本の共通点と相違点に自ら気付くことができるよう、工夫した。また、英語科の授業のため、ただ、写真同士をマッチさせるのではなく、英単語をカテゴリーとしてマッチさせることで既習の単語を復習し、新出の単語を予測させる場とした。マッチングカードゲームの写真を選定する際は、どちらかの国の優位性が表われるものではないよう、料理など、同格の写真を用いるよう配慮した。また、違う国であるため、相違点があるのは当然で、どちらかという、生徒が共通点を多く見いだせるよう写真選びをした。</li> <li>・True of Fales 形式にすることで、英語が苦手な下位層の生徒も英文の内容を理解しようとする工夫をした。また、True or False 問題づくりにおいては、生徒が既習事項を用いながら、質問の内容を予測できる程度の難易度になるよう、問題文の表現に配慮した。</li> <li>・教師が実際に会ったキルギスの人たちを紹介する英文を作成させることで、“キルギス人”と一括りにとらえるのではなく、キルギスで暮らす人たち一人一人の存在を知り、一人の人として、身近に感じ、道徳の時間では、その人のために自分に何ができるかを考える動機付けになるよう工夫した。</li> </ul>			
<p>11. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取り組み</p> <p>研修中に撮影した写真を教職員全員が見られるフォルダに格納し、共有した。また、道徳科、英語科の指導案を配付すると共に、データを共有した。また、モニタリング（研究授業）の際に、校内の先生方もお誘いし、数名が参観。また、研修係の先生が、授業の様子を写真を用いながら、校内研修会にて取り上げてくださった。</p>			

【自己評価】

<p>12. 苦労した点</p>	<p>今回、キルギスで学ばせていただいたことを授業化するにあたり、総合的な学習の時間に取り組んできた、SDGs をベースにしなが、英語科、道徳科と、教科横断的な学習にしたいと考えた。そのため、英語科の授業において、その次に取り組む道徳科で扱う、キルギスの課題に気付かせる必要があった。そうすると、生徒のもつ英語力を超えてしまう内容のため、日本語による説明が多くなってしまった。英語科の授業は、極力 All in English で授業を進めたいと考えているため、2つの兼ね合いで、ジレンマがあった。また、キルギスやキルギスの人たちの優しさや素晴らしさを生徒達に伝えなかったため、キルギスの課題を伝えることで、生徒達にとって、キルギスが酷い国、遅れた国という印象にならないよう、説明の内容や順番を決める際に苦労した。</p>
------------------	---



<p>13. 改善点</p>	<p>モニタリング（研究授業）の際は、アドバイザーや参観者から以下の点をご助言いただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が意欲をもってキルギスの紹介を聞けるよう、キルギスの人達の紹介文を作成する際、1文は事実とは異なっていてもいいから、キルギスの紹介を参考に生徒自身に一文を考えさせる仕掛けを用意してはどうか。</li> <li>・紹介文ができた際のライティングの添削を教師のみがするのではなく、生徒同士で協働させてはどうか。</li> </ul> <p>また、自分自身の反省点として、True or Fales の解答と補足説明の際に説明が長くなってしまい、最後まで生徒の意識を十分に引き付けることができなかった回があり、反省している。画像等も交えながら、コンパクトに伝えたい。</p>
<p>14. 成果が出た点</p>	<p>マッチングカードゲームなどの活動を通して、楽しみながら学ぶことができたことがうかがえた。また、写真等から生徒たち自らが、キルギスと日本の共通点と相違点を発見できた点が成果であると考えられる。また、授業における反応から、キルギスへ親近感を感じられたこと、キルギスの良さを感じられたこと、キルギスへ興味関心をもてたことが伝わった。また、感想にはキルギスの課題解決に向け、自分のできることに取り組みたいという記述も多く見られた。</p> <p>ライティングの活動では既習事項を用いて、紹介文をスラスラと作ることができている生徒が多くいた。また、三単現のSや単数、複数、代名詞などの文法的な間違いを個別に指摘し、考えさせる良い機会になった。また、1人で、英文を作ることが難しかった、英語が苦手な生徒に対し、紹介文の作成が終了した生徒をミニティーチャーとして派遣することで、学び合いの場を設けることができた。</p>
<p>15. 学びの軌跡 （児童生徒の反応、感想文、作文、ノートなど）</p>	<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="flex: 1;"> <p style="text-align: center;"><b>Let's introduce this person from Kyrgyzstan!!</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① <u>She is Begaiym.</u> </li> <li>② <u>She likes swimming.</u></li> <li>③ <u>Her treasures are her family and friend.</u></li> <li>④ <u>She likes Kyrgyzstan.</u> </li> <li>⑤ <u>She is very cute.</u> </li> </ol> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>この授業を通して私はキルギスについて多くのことを学びました。キルギスという国名なんて初めて聞いたし、よくわかりませんでした。でも、回を重ねていくうちにキルギスの人だけの問題ではなく、私たちにもできることがあるのだということが分かりました。これからの私たちの行動や生き方によってはキルギスが救われると思います。どんな問題でも他人事として考えるのではなく、自分事として考えることで解決の道が広がると思います。いつかは私もキルギスへ行ってみようと思います。</p> </div> </div> <div style="flex: 1; border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-left: 10px;"> <p>この授業を通して私はキルギスのことについて多くのことを学びました。キルギスという国名なんて初めて聞いたし、よくわかりませんでした。でも、回を重ねていくうちにキルギスの人だけの問題ではなく、私たちにもできることがあるのだということが分かりました。これからの私たちの行動や生き方によってはキルギスが救われると思います。どんな問題でも他人事として考えるのではなく、自分事として考えることで解決の道が広がると思います。いつかは私もキルギスへ行ってみようと思います。</p> </div> </div>

Let's introduce this person from Kyrgyzstan!

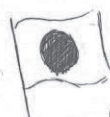
① His name is Adil.

② He is seven years old.

③ He has Japanese friends.

④ He likes volleyball.

⑤ He likes Kyrgyzstan too.



キルギスの文化には、アイヌの伝統的な模様と似たようなものがあり、他の国との共通点が日本にあるということがわかりました。また、先生がキルギスへ行ってきた話を聞いて、キルギスにはとても素敵なおもてなしの文化があり、そこに住んでいる人達はとても思いやりのある良い人たちだということが分かり、なんだか旅行してみたいと思いました。環境問題を解決する手助けなどをしたいな。と強く感じました。

キルギスの文化にはアイヌの伝統的な模様と似たようなものがあり、他の国との共通点が日本にあるということがわかりました。また、先生がキルギスへ行ってきた話を聞いて、キルギスにはとても素敵なおもてなしの文化があり、そこに住んでいる人達はとても思いやりのある良い人たちだということが分かり、なんだか旅行してみたいと思いました。環境問題を解決する手助けなどをしたいな。と強く感じました。

16. 授業者による自由記述

キルギスでの教師海外研修において、キルギスの児童、生徒たちの素直さやかわいらしさ、人懐っこさ、キルギスの人たちの温かさや優しさに触れ、すっかりキルギスが大好きになってしまった。授業づくりにおいては、「自分自身が感じたキルギスの魅力を、自分の生徒達に伝えたい！」という思いが一番にあった。授業づくりにおいてはまだまだ課題があるが、英語科の授業においてこの点は達成することができたと考える。






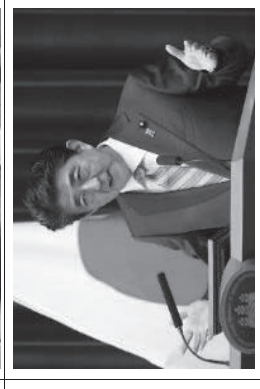
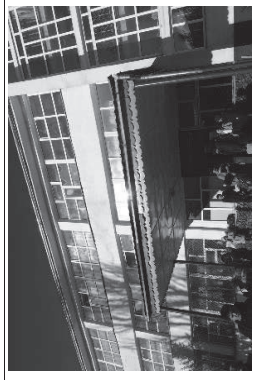




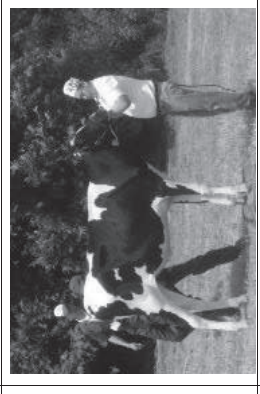







事前研修において、スーパーバイザーの先生方や過去の教師海外研修参加者から国際理解教育における、“参加型学習”の必要性とその手法を学ばせていただいたことも、大きな収穫であり、今後も国際理解教育を実践していく上で大切にしていきたい。

研修でお世話になった JICA 北海道の職員の方々、JOCA 職員の方々、JICA キルギス事務所や隊員の方々、授業づくりにおいてたくさんアドバイスをくださった橋詰先生をはじめとしたスーパーバイザーの先生方、そして、一緒に研修に参加したチームキルギスの先生方と、この研修に関わってくださった全ての皆様のおかげで、たくさんの学びを得ることができ、心から感謝しています。本当にありがとうございました。





参考資料：

- ・『エルボルーキルギスの 12 歳 (学校へいきたい!—世界の果てにはこんな通学路が!)』パスカル プリッソン原著 (六耀社)
- ・『中央アジア農村の親族ネットワーク—クルグズスタン・経済移行の人類学的研究』吉田 世津子著 (風響社)
- ・外務省HP (<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/kyrgyz/index.html>)



<p>food</p>			<p>store</p>		
<p>politician</p>			<p>school</p>		
<p>cloth</p>			<p>cow</p>		
<p>clothes</p>			<p>students</p>		
<p>mountain</p>			<p>trash box</p>		

# Let's play picture matching game!!

category	Kyrgyzstan 	Japan 	category	Kyrgyzstan 	Japan 





Question1

In Kyrgyzstan, students can learn in Kyrgyz or Russian.



True!!



Question2

In Kyrgyzstan, many people don't know about Japan.



False!!



Question3

In Kyrgyzstan, many children can ride a horse.



True!!

Question 4

In Kyrgyzstan, most students go to school only in the morning or in the afternoon.

True!!

Question5

In Kyrgyzstan, people often have a big welcome party.

True!!

Question7

In Kyrgyzstan, all students can go to school.

False!!

# Let's introduce this person from Kyrgyzstan!!



①

②

③

④

⑤

Class1- No. name

1. キルギスの人たちの紹介文をつくりましょう。
2. 以下の情報から5つ選んで左のカードで紹介する英文を5文書きましょう。
3. “彼女は可愛いです。” など、自分自身で文章を作っても構いません。  
その場合も5文の内の一つに含めます。
4. ①では必ず名前を紹介することとします。
5. 下書きを書き終わった人は先生の点検を受けましょう。
6. 点検で合格だった人はペン書きをしましょう。掲示するので、ペンやマスキングテープでデコレーションしてもOK。
7. 完成したら、下の枠内に今日の授業の感想を日本語で書きましょう。

## 【情報】

名前：Jibek

年齢：10歳

好きなスポーツ：テニス

宝物 (treasure)：家族

好きな教科：英語

住んでいる場所：キルギスのカラコル (Karacol) という町

乗馬ができるか：×

キルギスが好きか：○

# Let's introduce this person from Kyrgyzstan!!



①

②

③

④

⑤

Class1- No. name \_\_\_\_\_

1. キルギスの人たちの紹介文をつくりましょう。
2. 以下の情報から5つ選んで左のカードで紹介する英文を5文書きましょう。
3. “彼女は可愛いです。” など、自分自身で文章を作っても構いません。その場合も5文の内一つに含めます。
4. ①では必ず名前を紹介することとします。
5. 下書きを書き終わった人は先生の点検を受けましょう。
6. 点検で合格だった人はペン書きをしましょう。掲示するので、ペンやマスキングテープでデコレーションしてもOK。
7. 完成したら、下の枠内に今日の授業の感想を日本語で書きましょう。

## 【情報】

名前：Begaiym

年齢：10歳

好きなスポーツ：水泳

宝物 (treasure)：家族と友達

好きな教科：英語

住んでいる場所：キルギスのカラコル (Karacol) という町

乗馬ができるか：○

キルギスが好きか：○



# Let's introduce this person from Kyrgyzstan!!



①

②

③

④

⑤

Class1- No. name \_\_\_\_\_

1. キルギスの人たちの紹介文をつくりましょう。
2. 以下の情報から5つ選んで左のカードで紹介する英文を5文書きましょう。
3. “彼女は可愛いです。” など、自分自身で文章を作っても構いません。  
その場合も5文の内一つに含めます。
4. ①では必ず名前を紹介することとします。
5. 下書きを書き終わった人は先生の点検を受けましょう。
6. 点検で合格だった人はペン書きをしましょう。掲示するので、ペンやマスキングテープでデコレーションしてもOK。
7. 完成したら、下の枠内に今日の授業の感想を日本語で書きましょう。

## 【情報】

名前：Amina

年齢：13歳

好きなスポーツ：サッカー

宝物 (treasure)：両親

好きな教科：英語

夢：一生懸命勉強して大学に入ること

乗馬ができるか：○

キルギスが好きか：○

# Let's introduce this person from Kyrgyzstan!!



①

②

③

④

⑤

Class1- No. name \_\_\_\_\_

1. キルギスの人たちの紹介文をつくりましょう。
2. 以下の情報から5つ選んで左のカードで紹介する英文を5文書きましょう。
3. “彼女は可愛いです。” など、自分自身で文章を作っても構いません。  
その場合も5文の内の一つに含めます。
4. ①では必ず名前を紹介することとします。
5. 下書きを書き終わった人は先生の点検を受けましょう。
6. 点検で合格だった人はペン書きをしましょう。掲示するので、  
ペンやマスキングテープでデコレーションしてもOK。
7. 完成したら、下の枠内に今日の授業の感想を日本語で書きましょう。

## 【情報】

名前：Minura

好きなスポーツ：走ること

宝物 (treasure)：正直さ (honesty)

好きな教科：英語と歴史

仕事：会社の経営者

乗馬ができるか：○

キルギスが好きか：○

住んでいる場所：キルギスのビシュケク (Bishkek) という街

# Let's introduce this person from Kyrgyzstan!!



①

②

③

④

⑤

Class1- No.          name                         

1. キルギスの人たちの紹介文をつくりましょう。
2. 以下の情報から5つ選んで左のカードで紹介する英文を5文書きましょう。
3. “彼女は可愛いです。” など、自分自身で文章を作っても構いません。  
その場合も5文の内一つに含めます。
4. ①では必ず名前を紹介することとします。
5. 下書きを書き終わった人は先生の点検を受けましょう。
6. 点検で合格だった人はペン書きをしましょう。掲示するので、  
ペンやマスキングテープでデコレーションしてもOK。
7. 完成したら、下の枠内に今日の授業の感想を日本語で書きましょう。

## 【情報】

名前：Adil

年齢：7歳

好きなスポーツ：バレーボール

宝物 (treasure)：両親

乗馬ができるか：×

キルギスが好きか：○

夢：日本語を勉強すること

その他：日本人の友達がいる

## Let's introduce this person from Kyrgyzstan!!



①

②

③

④

⑤

Class1- No. name \_\_\_\_\_

1. キルギスの人たちの紹介文をつくりましょう。
2. 以下の情報から5つ選んで左のカードで紹介する英文を5文書きましょう。
3. “彼女は可愛いです。” など、自分自身で文章を作っても構いません。  
その場合も5文の内の一つに含めます。
4. ①では必ず名前を紹介することとします。
5. 下書きを書き終わった人は先生の点検を受けましょう。
6. 点検で合格だった人はペン書きをしましょう。掲示するので、  
パンやマスキングテープでデコレーションしてもOK。
7. 完成したら、下の枠内に今日の授業の感想を日本語で書きましょう。

### 【情報】

名前：Kanikei

年齢：9歳

好きなスポーツ：バレーボール

宝物 (treasure)：家族

好きな教科：数学

乗馬ができるか：×

キルギスが好きか：○

その他：東京と沖縄での滞在を楽しんだ



## Let's introduce this person from Kyrgyzstan!!



①

②

③

④

⑤

Class1- No. name \_\_\_\_\_

1. キルギスの人たちの紹介文をつくりましょう。
2. 以下の情報から5つ選んで左のカードで紹介する英文を5文書きましょう。
3. “彼女は可愛いです。” など、自分自身で文章を作っても構いません。  
その場合も5文の内一つに含めます。
4. ①では必ず名前を紹介することとします。
5. 下書きを書き終わった人は先生の点検を受けましょう。
6. 点検で合格だった人はペン書きをしましょう。掲示するので、  
ペンやマスキングテープでデコレーションしてもOK。
7. 完成したら、下の枠内に今日の授業の感想を日本語で書きましょう。

### 【情報】

名前：Aktan

好きなスポーツ：バスケットボール

宝物 (treasure)：家族

好きな教科：数学、英語

乗馬ができるか：○

キルギスが好きか：○

職業：ホテルで働いている

## Let's introduce this person from Kyrgyzstan!!



①

②

③

④

⑤

1. キルギスの人たちの紹介文をつくりましょう。
2. 以下の情報から5つ選んで左のカードで紹介する英文を5文書きましょう。
3. “彼女は可愛いです。” など、自分自身で文章を作っても構いません。その場合も5文の内一つに含めます。
4. ①では必ず名前を紹介することとします。
5. 下書きを書き終わった人は先生の点検を受けましょう。
6. 点検で合格だった人はペン書きをしましょう。掲示するので、ペンやマスキングテープでデコレーションしてもOK。
7. 完成したら、下の枠内に今日の授業の感想を日本語で書きましょう。

### 【情報】

名前：Sooronbai Jeenvekov

職業：大統領 (President)

誕生日：11月16日

子ども：2人

使用言語：キルギス語 (Kyrgyz) とロシア語 (Russian)

出身地：オシ州 (Osh)

キルギスが好きか：○

その他：ロシア語を教えていた

Class1- No. name \_\_\_\_\_

## 国際理解教育/開発教育 学習指導（活動）案

### 【実践者】



授業者氏名	山本 つぐみ	学校名	札幌市立中央中学校
教科（科目）・領域	道徳科（国際理解）	対象学年（人数）	1学年（4学級135名）
実践年月日もしくは期間（時数）	2020年2月～3月（1時間）		

### 【実施概要】

1. 単元名(活動名) : SDGs Action Card GameX (クロス) を通して考えるキルギスの課題解決へのアプローチ法					
2. 実施する教科・領域 : 道徳科（国際理解・国際貢献）	3. 学習領域				
		1	2	3	4
	A 多文化社会	文化理解	文化交流	多文化共生	
	B グローバル社会	相互依存	情報化		
	C 地球的課題	人権	環境	平和	開発
D 未来への選択	歴史認識	市民意識	社会参加		
4. 単元の目標 : キルギスの課題と実際に行われている支援、支援する人の思いを理解する。仲間と協力して、キルギスの課題解決の方策を考える。					
5. 単元の 評価規準	①知識及び技能	キルギスの課題と実際に行われている支援、支援する人の思いを知ることができたか。			
	②思考力、判断力、表現力等	課題解決の方策を与えられた条件の中で考えることができたか。			
	③学びに向かう力、人間性等	課題解決に向け、班員と協力することができたか。			
6. 単元設定の理由・単元の意義 (児童/生徒観、教材観、指導観)	【単元設定の理由】 カードゲームで課題の解決策を班の仲間と協力して考える取り組み、キルギスで活躍するJICAの協力隊の方のお話を通して、世界の中の日本人としての自覚をもち、他国の人々の文化や習慣を尊重し、国際的視野に立って、世界の平和と人類の発展に寄与しようとする態度を育てたい。				
	【単元の意義】 SDGsにおいて最も重要な「誰一人取り残さない」という考えを実現するために、班員全員で協力しながら、SDGsの17個のゴールに沿ったキルギスの課題の解決策を考えることで、他者と協働する力を育てたい。				
	【児童/生徒観】 本校では総合的な学習の時間の時間を“あいタイム”と呼称し、1学年においては、“よりよい環境をつくる喜び”をテーマに、環境学習に取り組んできた。本年度はSDGsをベースに、施設訪問し、調べ学習を行った。事後学習として、SDGs Action Card Game X(クロス)に取り組んだため、レディネスがあり、本時の学習内容にも、混乱なく取り組めると考える。				
	【指導観】 指導するに当たっては、生徒が世界的課題を“自分事”として捉え、行動しようとする態度が養われるよう、意識したい。				

7. 単元計画 (全 1 時間)			
時	ねらい	学習活動	資料など
1	・キルギスの課題の解決策を考えよう	・SDGs Action Card GameX (クロス) を通してキルギスの課題解決法を考える ・キルギスで活動する JICA 隊員の方々の活動や思いを伝える	金沢工業大学 SDGs 推進センター <a href="https://www.kanazawa-it.ac.jp/sdgs/education/application/">https://www.kanazawa-it.ac.jp/sdgs/education/application/</a>
8. 本時の展開 (1 時間目)			
本時のねらい：キルギスの課題の解決策を考えよう			
過程・時間	教師の働きかけ・発問および学習活動	指導上の留意点 (支援)	資料 (教材)
導入 (5分)	1. 英語科の時間での学習内容、また、総合的な学習の時間の学びを振り返る。 2. 本時の目標を確認する		
X (クロス) を通してキルギスが抱える課題の解決策を考えよう			
展開 (30分)	3. X (クロス) a.)ルール説明 【ゲームのルール】 ① 4～5人1組のユニットを作る ② ファシリテーター (教師) は、課題を提示する ③ プレイヤーは、解消すべき課題を明確にする ④ ファシリテーターは、プレイヤー1人2枚ずつリソースカードを配る ⑤ プレイヤーは、リソースカードを必ず1人1枚使って、トレードオフ解決に役立つアイデアを考える。アイデアを思いついたプレイヤーから順に、リソースカードを場に出し、アイデアを伝える ⑥ ⑤を繰り返し、各プレイヤーのアイデアをつなげながら、トレードオフ解消を目指す。ユニットのプレイヤー全員がリソースカードを1枚使用したらゲーム終了 b.)大切にしたい3つの約束事の確認 【ゲーム内での3つの約束】 1. 人のアイデアを否定しない 2. それぞれのアイデアを大切に、良い所を積極的に引き出す。 3. 「誰一人取り残さず、全員で協力して」課題の解決に挑戦する。 c.)発表 d.)投票 【選ぶポイント】 ① 課題を解決できているか ② アイディアが持続可能か ③ アイディアが実現可能か	・画面にカウントダウン表示。静かに聞くよう促す。  ・伝わりにくい場合は、言い換えるなどアシストする。否定しない。  ・話し合いが終わったチームには発表者を決めておくように指示する ・3つの観点から、最も良いと思うアイデアに挙手で投票させる。	道徳科資料① クロス台紙、 英語科資料① カード (英語科の授業で使 用したカードをリソ ースカードとして使 用する)



<p>☆設定した課題☆</p> <p>①キルギス国内では産業が少なく、若者の多くが国外へ出稼ぎに行かなければならない。</p> <p>②キルギス首都のビシュケク市内では増加した車の排気ガスとセントラルヒーティング用に石炭を燃やしているため、大気汚染が進んでいる。</p> <p>③キルギスでは特定の障がいと診断されると、教育不能として、教育を受ける権利が与えられない。</p> <p>④キルギスでは交通ルールの周知と交通ルールを守るという意識が不足していて、死亡事故を含む交通事故が多発している。</p>	<p>①キルギス国内では産業が少なく、若者の多くが国外へ出稼ぎに行かなければならない。</p>			
	<p>例 キルギスの“政治家”が気候や地形が似ている日本へ研修に行き、日本の産業や経済の基盤を学び、キルギスに取り入れる。ごみの分別をする収集業（“ゴミ箱”）をより強化して、ごみ収集業に就く人を増やす。“牛”のフンを使ってバイオマス発電をし、バイオマス発電をする職業を作る。エネルギーの大切さを国を挙げて国民に伝え、ごみ収集業やバイオマス発電などの仕事に就きたいと考える人を増やす。“生徒”達にどうしたら出稼ぎが減るか、産業が増えるかを考えさせ、そこで出た意見を実際に取り入れる。</p>			
	<p>②キルギス首都のビシュケク市内では増加した車の排気ガスとセントラルヒーティング用に石炭を燃やしているため、大気汚染が進んでいる。</p>	<p>例 刺繍の“布”やはちみつを輸出し、そのお金でプリウスなどのエコカーを輸入する。また、“牛”のフンを用いてバイオマス発電をする。“料理”をみんなで食べて温まることで暖房の使用を控える。また“生徒”に学校で環境問題について学んでもらい、環境問題の深刻さを理解してもらう。</p>		
	<p>③キルギスでは特定の障がいと診断されると、教育不能として、教育を受ける権利が与えられない。</p>	<p>例 “政治家”がリーダーシップを発揮し、“山”などの観光資源を使って、観光業に力を入れ、お金を稼ぐ。そのお金で特別支援“学校”を作る。また、“生徒”たちは学校で、特別支援教育や障がいについて学び、理解を深める。みんなが笑顔になる。</p>		
	<p>④キルギスでは交通ルールの周知と交通ルールを守るという意識が不足していて、死亡事故を含む交通事故が多発している。</p>	<p>例 “政治家”は法律を変えて、交通事故の罰を重くする。また、教習所を増やす。生徒は“学校”で交通ルールを学び、ルールを守る意識を高める。“お店”に交通ルールに関するポスターを貼ったり、防犯カメラを設置したりする。また、ゴールド免許の人は駐車場の代金を安くする。ごみ収集車（“ゴミ箱”）のスピーカーで石焼き芋みたいに、交通ルールを呼びかける。また、指定ゴミ袋に交通ルールを掲載する。</p>		
<p>まとめ (15分)</p>	<p>6. JICA 海外協力隊の取り組みや思いを伝える</p>			
<p>世界の人々のために何かをしようとするとき、配慮すべきことは何だろうか。</p>			<p>・本田さん（道徳教育）のお話</p>	
	<p>先進国から途上国に来たとき <u>上から</u> 目線になりがちですが、今のこの国のシステムはこの国の人達が一生懸命に創りあげてきたもの。絶対に <u>否定</u> せずに、このやり方は素晴らしいが、こうすると <u>もっと良くなる</u> と僕は思うのですが、どうですか？と伝えるようにしています。</p>			
<p>*□の部分黒抜きにし、どのような言葉が入るか、生徒に予想させる。</p>		<p>道徳科資料② パワーポイント</p>	<p>・園中さん（英語教育）のお話</p>	
	<p>”支援”ではなく、“<u>共有</u>”と考えています。全員が全員、変化を求めている訳ではない。変え</p>			
<p>*□の言葉には園中さんのどのような思いが込められているのかを生徒に考えさせる。</p>			<p>上から目線で相手に教えるのではなく、学び合うってことかな？</p> <p>自分の考えを相手に押し付けないってことではないかな？</p>	

他国の人々の文化や考え方を尊重すること。

7. 振り返りシートを記入する

9. 評価規準に基づく本時の評価（評価方法）

- ①知識及び技能：キルギスの課題と実際に行われている支援、支援する人の思いをすることができたか、振り返りシートから見取る。
- ②思考力、判断力、表現力等：課題解決の方策を与えられた条件の中で考えることができたかを、話し合い活動の様子から見取る。
- ③学びに向かう力、人間性：課題解決に向け、班員と協力することができたかを話し合い活動の様子から見取る。

10. 学習方法および外部との連携

本時の授業を組み立てるに当たり、金沢工業大学 SDGs Global Youth Innovators と株式会社リバープロジェクトの共同開発によって生み出された THE SDGs Action card game 「X（クロス）」をベースにさせていただいた。総合的な学習の時間で取り組んだ際は用いるリソースカード（解決方法を考える際に使える資源が書かれた持ち札）もトレードオフカード（解決を目指す課題が示されている）も評価基準も THE SDGs Action card game 「X（クロス）」本来のものをを用いたが、本時の授業においては、リソースカードを英語科の授業のマッチングゲームで用いたキルギスの写真に変更した（食べ物、政治家、布、服、山、店、学校、牛、生徒、ごみ箱）。また、解決を目指す課題は研修で自分自身が実際にキルギスへ行き、キルギスがキルギスの人たちにとってより住みよい国になっていくために、解決が必要だと感じた内容とした。活動の最後に生徒同士の投票で最も良いと思うアイデアを選ばせる際の評価基準は本来であれば、①トレードオフを解決できているか ②アイデアが持続可能であるか ③アイデアが独創的であるかの3観点である。しかし、国際理解教育の大切な観点である。自分事としてとらえる、絵空事にならない、大風呂敷を広げないなどの観点から、③の評価基準を、③アイデアが実現可能であるかに変更した。今回、THE SDGs Action card game 「X（クロス）」を授業に取り入れ、また、本来の意図するところから、形を変えさせていただくため、許可をいただきたく、ご連絡をさせていただいた。その際、快くご許可くださり、また、オリジナルと変更点を明示するようにご助言くださった、金沢工業大学 SDGs Global Youth Innovators の皆様にこの場をお借りして御礼申し上げます。

11. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取り組み

研修中に撮影した写真を教職員全員が見られるフォルダに格納し、共有した。また、道徳科、英語科の指導案を配付すると共に、データも共有した。また、モニタリング（研究授業）の際に、校内の先生方もお誘いし、数名が来室。また、研修係の先生が、授業の様子を、写真を用いながら、校内研修会にて取り上げてくださった。

【自己評価】

12. 苦勞した点	ルールの徹底に難しさを感じた。特に、アイデアを思いついたプレイヤーから順に、リソースカードを場に出し、アイデアを伝えるという部分を理解させることが難しく、手持ちのカードを仲間に2枚とも見せてしまった生徒がいた。
13. 改善点	投票の際に挙手で良いと思ったものに投票させたが、生徒同士がワークシートを見てまわって、良いと思ったチームのワークシートにシールを貼って投票したり、良いと思ったアイデアに線を引かせたりするなどしてもより相互の関わりが生

	<p>まれると考えた。</p>
<p>14. 成果が出た点</p>	<p>活動中の様子から生徒たちがグループの仲間と協力しながら、生き生きと話し合い活動を進める様子が見え、また、授業後の感想から、生徒たちが、キルギスの課題はキルギスだけで解決していく問題ではなく、世界全体で考えていくべきこと、また、共通した課題を日本も抱えていること、自分たちができることから取り組んでいく意志が見られ、“自分事”として、捉えられた生徒がいたことが成果である。</p>
<p>15. 学びの軌跡 (児童生徒の反応、感想文、作文、ノートなど)</p>	<div data-bbox="427 633 1426 846" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>キルギスはとても良い国だと思っけ。いろいろな環境問題をかかえていて、キルギスも日本も同じような立場なんだなと思っけ。キルギスよりも日本が良いことも、日本よりキルギスが良いこともあるので、やっぱり、「支え」ではなく、「共有」なんだなと思っけ。キルギスの人は日本のことをたくさん知っていると思うので、私もキルギスのことをもっと知りたいと思っけ。</p> </div> <div data-bbox="427 855 1426 1068" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>キルギスの問題に向けて自分事として考えないといけないと思っけ。理由は日本は先進国だけじゃなくこれからの日本に何が起るかは分からないし、もしかしたら他の先進国じゃない国に生まれてたかもしれないから。また、先進国だからこそ、できることがあると思うので、それを今後考えていけたらいいと思っけ。だからキルギスだけの問題ではなく、世界全体の問題として考えていけばいいと思っけ。しかし、私一人だけがこのように考えていてもあまり意味がないので、少しずつこの問題が広がっていき、私一人だけではなく、もっとこのことを考える人が増えてキルギスを支えてくれる国になっていけるのがいいかなと思っけ。</p> </div> <div data-bbox="427 1077 1426 1267" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>キルギスにもまだできていないことだったりあって、おなじように日本にもまだまだ課題があるので、3人の人達が言っていたように共有を意識して、まずは自分達の身の回りでできることをやっていきたいと思っけ。</p> </div> <div data-bbox="188 1276 1426 1568" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>今日はキルギスの問題を「決り」で、日本も環境に良くないことをしているの、英面目に解決策を考えることができた。そして、今回のクロスカードでは、多角的から実現可能なという項目に変わり、きちんとした実現する言が出来る言にするか、とても難しかった。でも、今日は今まで勉強は知識を生かすことができたと思っけ。例えば、本でキルギスの問題を調べると提案も、僕は、社会の授業の単語が出来る前はこのようなものがあまり理解していませんでした。しかし、授業でしっかり学ぶことで、課題を解決することができました。今の時代は様々な国で様々な課題がある社会なので、世界中の1人1人が自分事として生活していかなければならないと思っけ。今の国の問題も世界に大きな影響を与えることあるので、今世界で起きていることを理解し、地球の1人1人がその問題に向き合うことが大切だと思っけ。それ、他の国の問題を知るために英語や外国語を勉強し、現地に行けることも大切にしていきます。環境のこと以外にもキルギスや他の国の文化に興味を持つこともできました。自分ができること、1人で出来ること、それに全力で取り組んでいきます。</p> </div>
<p>16. 授業者による自由記述</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、臨時休業となり、担任をしている学級での道徳の授業ができなかった。他学級で先に取り組み、最後にブラッシュアップして、最も良い形で授業をしたいと思っていたため、とても悔やまれる。新年度の学校再開後、何とか実施できないかと方策を探したが、学級解体しており、授業の実践が困難であった。</p>

参考資料：

- ・金沢工業大学 SDGs 推進センターホームページ  
<https://www.kanazawa-it.ac.jp/sdgs/education/application/>
- ・THE SDGs Action cardgame 「X (クロス)」 説明書 金沢工業大学 SDGs Global Youth Innovators 2018.10.30 版

ゲーム内での3つの約束

1. 人のアイデアを否定しない
2. それぞれのアイデアを大切に、良い所を積極的に引き出す。
3. 「誰一人取り残さず、全員で協力して」課題の解決に挑戦する。

解決法を探る

キルギスの課題

キルギス国内では産業が少なく、若者の多くが国外へ出稼ぎに行かなければいけない。

8 働きがいも  
経済成長も



9 産業と技術革新の  
基盤をつくろう



リソースカードの持続的な役割・使い方

①

リソースカードを  
セロテープで貼る

(カードをどのように使って、どんな効果を出す？何を  
する・させる？何のために使う？ などなど・・・)

②

リソースカードを  
セロテープで貼る

(カードをどのように使って、どんな効果を出す？何を  
する・させる？何のために使う？ などなど・・・)

③

リソースカードを  
セロテープで貼る

(カードをどのように使って、どんな効果を出す？何を  
する・させる？何のために使う？ などなど・・・)

④

リソースカードを  
セロテープで貼る

(カードをどのように使って、どんな効果を出す？何を  
する・させる？何のために使う？ などなど・・・)

実現可能でみんなが幸せになれる問題解決のアイデアまとめ



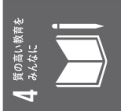
ゲーム内での3つの約束

1. 人のアイデアを否定しない
2. それぞれのアイデアを大切に、良い所を積極的に引き出す。
3. 「誰一人取り残さず、全員で協力して」課題の解決に挑戦する。

解決法を探る

キルギスの課題

キルギスでは特定の障碍と診断されると、教育不能として、  
教育を受ける権利が与えられない。



リソースカードの持続的な役割・使い方

①

リソースカードを  
セロテープで貼る

(カードをどのように使って、どんな効果を出す？何を  
する・させる？何のために使う？ などなど・・・)

②

リソースカードを  
セロテープで貼る

(カードをどのように使って、どんな効果を出す？何を  
する・させる？何のために使う？ などなど・・・)

③

リソースカードを  
セロテープで貼る

(カードをどのように使って、どんな効果を出す？何を  
する・させる？何のために使う？ などなど・・・)

④

リソースカードを  
セロテープで貼る

(カードをどのように使って、どんな効果を出す？何を  
する・させる？何のために使う？ などなど・・・)

実現可能でみんなが幸せになれる問題解決のアイデアまとめ

ゲーム内での3つの約束

1. 人のアイデアを否定しない
2. それぞれのアイデアを大切にし、良い所を積極的に引き出す。
3. 「誰一人取り残さず、全員で協力して」課題の解決に挑戦する。

解決法を探る

キルギスの課題

キルギス首都のビシュケク市内では増加した車の排気ガスとセントラル  
ヒーティング用に石炭を燃やしているため、大気汚染が進んでいる

7 エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに



13 気候変動に  
具体的な対策を



リソースカードの持続的な役割・使い方

①

リソースカードを  
セロテープで貼る

(カードをどのように使って、どんな効果を出す？何を  
する・させる？何のために使う？ などなど・・・)

②

リソースカードを  
セロテープで貼る

(カードをどのように使って、どんな効果を出す？何を  
する・させる？何のために使う？ などなど・・・)

③

リソースカードを  
セロテープで貼る

(カードをどのように使って、どんな効果を出す？何を  
する・させる？何のために使う？ などなど・・・)

④

リソースカードを  
セロテープで貼る

(カードをどのように使って、どんな効果を出す？何を  
する・させる？何のために使う？ などなど・・・)

実現可能でみんなが幸せになれる問題解決のアイデアまとめ

ゲーム内での3つの約束

1. 人のアイデアを否定しない
2. それぞれのアイデアを大切に、良い所を積極的に引き出す。
3. 「誰一人取り残さず、全員で協力して」課題の解決に挑戦する。

解決法を探る

キルギスの課題

キルギスでは交通ルールの周知と交通ルールを守るという

意識が不足していて交通事故を含む交通事故が多発している。

3 すべての人に健康と福祉を



11 住み続けられるまちづくりを



リソースカードの持続的な役割・使い方

①

リソースカードを  
ゼロテープで貼る

(カードをどのように使って、どんな効果を出す？何をする・させる？何のために使う？ などなど・・・)

②

リソースカードを  
ゼロテープで貼る

(カードをどのように使って、どんな効果を出す？何をする・させる？何のために使う？ などなど・・・)

③

リソースカードを  
ゼロテープで貼る

(カードをどのように使って、どんな効果を出す？何をする・させる？何のために使う？ などなど・・・)

④

リソースカードを  
ゼロテープで貼る

(カードをどのように使って、どんな効果を出す？何をする・させる？何のために使う？ などなど・・・)

実現可能でみんなが幸せになれる問題解消のアイデアまとめ

キルギスでキルギスの発展のために活動している日本人の人達にお会いすることができました。ご紹介します。

私はJICAボランティアとして、キルギスの学校で道徳の授業を教えています。また、キルギスの役所の人と協力して、より良い授業の方法や内容を現地の先生方に提案する研修会を開いています。



本田隆介さん

支援する上で大切にしていることを伺うと・・・

先進国から途上国に来たとい■■■■目線になりがちですが、今のこの国のシステムはこの国の人達が一生懸命に創りあげてきたもの。絶対に■■■■せずに、このやり方は素晴らしいが、こうすると■■■■と僕は思うのですが、どうですか？と伝えるようにしています。



本田隆介さん

支援する上で大切にしていることを伺うと・・・

先進国から途上国に来たとい■■■■目線になりがちですが、今のこの国のシステムはこの国の人達が一生懸命に創りあげてきたもの。絶対に■■■■せずに、このやり方は素晴らしいが、こうすると■■■■と僕は思うのですが、どうですか？と伝えるようにしています。



本田隆介さん

支援する上で大切にしていることを伺うと・・・

先進国から途上国に来たとい■■■■目線になりがちですが、今のこの国のシステムはこの国の人達が一生懸命に創りあげてきたもの。絶対に否定せずに、このやり方は素晴らしいが、こうすると■■■■と僕は思うのですが、どうですか？と伝えるようにしています。



本田隆介さん

支援する上で大切にしていることを伺うと・・・

先進国から途上国に来たとい■■■■目線になりがちですが、今のこの国のシステムはこの国の人達が一生懸命に創りあげてきたもの。絶対に否定せずに、このやり方は素晴らしいが、こうするともっと良くなると僕は思うのですが、どうですか？と伝えるようにしています。



本田隆介さん



私はJICAボランティアとして、キルギスの学校で小学生から高校生の年代の子ども達に英語を教えています。



園中秋葉さん

支援する上で大切にしていることを伺うと・・・

“支援”ではなく、“共有”と考えています。全員が全員、変化を求めている訳ではありません。変えたいことがあっても、相手が求めていなければ自分が妥協することが多いです。



園中秋葉さん

支援する上で大切にしていることを伺うと・・・

“支援”ではなく、“共有”と考えています。全員が全員、変化を求めている訳ではありません。変えたいことがあっても、相手が求めていなければ自分が妥協することが多いです。



園中秋葉さん